

# 美しい球磨川・不知火海を取り戻そう!

## ～瀬戸石ダム撤去を求める住民大集会～



豊かな不知火海を取り戻したい



子どもが遊ぶ球磨川に!



沢山のアユが泳ぐ球磨川に!

荒瀬ダム撤去は球磨川・不知火海再生のきっかけ!



荒瀬ダム撤去で流れる川は戻ったけれど

日本初のダム撤去となった荒瀬ダムの撤去工事開始により、球磨川も河口干潟も回復しつつあり、アユやウナギ・エビも増えつつあります。しかし、上流の瀬戸石ダムが依然として水質悪化を招き、また魚の往来や下流や・干潟への土砂供給をストップさせ、球磨川の再生を妨げています。将来的には、またダムがある川・干潟に戻ることが危惧されます。

H26年 **2** 月 **1** (土) 日

八代市厚生会館大ホール

時間：午後2時（開場：午後1時30分）

参加費：500円（資料代）

問合せ先：（八代）0965-32-7140 つる 詳子

（坂本）090-7297-2720 上村 雄一

（人吉）090-2859-5520 本村 令斗

瀬戸石ダムがある限り  
豊かな球磨川は戻らない

主催：「瀬戸石ダム撤去を求める住民大集会」実行委員会

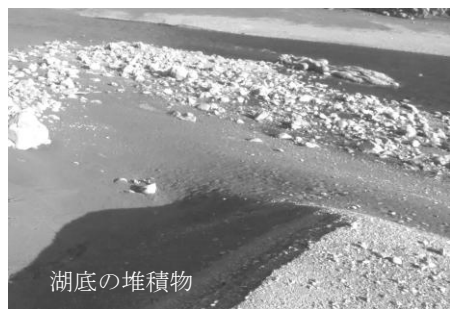
# 瀬戸石ダムの問題点！



瀬戸石ダム湖のアオコ

## アオコの発生がダム湖や下流の水質悪化を招く

瀬戸石ダムの夏のアオコや赤潮の発生は大変ひどく、水質悪化・悪臭の発生を招いており、アユなどの魚族の生息を妨げているだけでなく、下流の水質を悪化させています。荒瀬ダム撤去で流れる川が戻り、水質も改善されつつあるものの、上流から瀬戸石ダムの汚い水が流れて来る限り、荒瀬ダムの撤去だけでは、下流の清流は戻りません。



湖底の堆積物

## ダム湖の堆積物が水害の原因になり、水質の悪化を招く

ダム湖にはおびただしい土砂が溜まっています。この河床上昇により水深は浅くなり、沿川の水害の原因になっています。また、この土砂は水質を更に悪化させ、不栄養化やアオコ・赤潮発生の原因になっています。

(支流・平谷川には7mを超す堆積土砂が堆積→)



平谷川



通常はゲートが閉まっている瀬戸石ダム

## ダムがある限り、アユは産卵に下れず、翌年のアユ増加につながらない

現在、アユは人の手によって、上流に放流されています。しかし、産卵のために下る時には、瀬戸石ダムが閉まっているために親アユは下流の産卵場まで下れません。産卵に下れるのは、秋に大雨が降って、ゲートが開いた時だけです。瀬戸石ダムがあるかぎり、アユの増加には限界があります。また、梅雨時など他の大雨時のゲート全開により下ったアユも再び上流に上ることは出来ません。

## 振動被害は、近辺集落の住民にダムがある限り苦痛を与える

時間を問わない放流時の振動は、ダム近くに住む方たちにとっては睡眠障害です。ダム建設時から今まで、そして瀬戸石ダムが存続する限り続きます。家族離れての生活を余儀なくされている方もいます。また、夜間の放流時のけたたましいサイレンも沿川の住民を悩ませています。皆さんの少しの節電努力で解決できる程度の僅かな発電のために、一部の人達に多大な苦痛を与え続けています。



瀬戸石ダムと高田辺集落

## 再び、干潟も痩せていく

荒瀬ダムのゲート全開後、河口では砂干潟も藻場も再生しつつありますが、現在干潟に供給されている砂は、荒瀬ダム湖に溜まっていた砂の供給によるものが殆どです。荒瀬ダムに堆積していた砂がなくなったら、瀬戸石ダムが土砂の流下を妨げているために、再び痩せ始める可能性があります。将来的に八代海の漁獲量を増やすためには瀬戸石ダムの撤去しかありません。



砂が増えて、歩けるようになった干潟では、多くの人々がアユナジャコ捕りを楽しむ